

緊急時  
にもできる

# はじめてのテレワーク

テレワークセンター徳島



新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として、「テレワーク」という働き方が今まで以上に注目を集めています。

もちろん、医療や福祉のほか対面での接客など場所を選べないお仕事もあり、すべての業務が在宅勤務可能なわけではありませんが、できる人ができる業務をテレワークで行うことで人との接触を減らすことにつながります。

緊急時である今、我が県のどの企業・事業所でも「明日からテレワーク」という状況がいつ起こりうるかわかりません。テレワークセンター徳島ではテレワークのステップと今すぐテレワークを行わなければならなくなった場合の準備についてご紹介します。

通常は社内のルールや使用するツールなどの環境を整えてからテレワークを開始しますが、まず現在の会社の状況を確認して、取り組める人・取り組めるステップから始めてみませんか？

テレワークに向いている業務				
・資料、書類作成	・データ入力	・分析	・デザイン	・プログラミング
・ライティング	・企画／立案	・調査	・営業	・ミーティング

## テレワークのステップ

<p>ステップ1</p>	<p>ステップ2</p>	<p>ステップ3</p>	<p>ステップ4</p>
テレワークなんて考えたこともなかった！	テレワークは初めてだけどネット環境があるし共通のツールも使える	テレワークの経験がある！（トライアル含む）	テレワークを積極的に実践している
まずは働く場所を「会社」から「自宅」に	工夫すればオフィスにいるのと同様の業務ができることを実感します	緊急時にも比較的容易に在宅勤務に切り替えられます	緊急時にもスムーズに在宅勤務に切り替えられます
緊急時の応急処置的な在宅勤務です。自分一人ですべての仕事であればすぐに在宅勤務が可能です。働く場所を「会社」から「自宅」に変えるときに最低限必要なルールを決め、後でトラブルにならないよう明文化しておきましょう。	自宅でもインターネット接続が可能の場合、ファイル共有サービスなどを利用して協同で業務を進めることができます。また、ウェブ会議システムなどを利用すれば成果確認だけでなくコミュニケーションをとりながら業務を進めることができます。	災害やパンデミックが発生した場合にも比較的容易にテレワークに移行することができるでしょう。備えとして、業務プロセスの見直しや社員のリテラシー向上で制約を減らしておくことが重要です。	緊急時にも慌てることなくテレワークに移行できるでしょう。この機会にテレワークによる効果や変化の評価と、長期間の実施になる場合の課題等を洗い出して改善に活かしましょう。

↑  
緊急時に始めるテレワーク

↑  
いつでも安心テレワーク

## 緊急的にテレワーク を始める場合の準備



	平時に始めるテレワーク	緊急時のテレワーク（最低限のルール）
労務管理	就業規則での規定を行う	以下の内容を明文化しておく ・就業場所 ・就業時間（始業と終業の連絡方法）
業務・実績管理	検討の上、各社にあった機器やシステムを導入する	以下の連絡を行う方法を決めておく ・業務の予定 ・実績の報告
コミュニケーション	目的に応じたコミュニケーションツールの利用	電話やメールなど、現時点ですぐにお互いのコミュニケーションがとれる方法を確認しておく
費用負担	費用負担についてルール化	費用負担について合意しておく

## 明日からテレワーク！ となったときに最低限やっておくべきこと

### （雇用側）

- ①在宅勤務者の業務時間を把握する方法を決めておく。
- ②在宅勤務によって発生する費用の負担について決めておく。
- ③在宅勤務に必要なサービス規律を決めておく
- ④使用するパソコンにセキュリティ上の問題がないか確認しておく
- ⑤必要時に迅速、確実にコミュニケーションがとれる方法を決めておく（電話、メール等）。



### （被雇用側）

- ①勤務開始時間、終了時間、休憩・中抜け時間はいつでも報告できるよう控えておく
- ②在宅勤務を行う事によって生じた費用に関しては後から分かるようにしておく（購入したものの領収書や、レシートはとっておく）。
- ③在宅勤務時のサービス規律に従って業務を行う。
- ④業務に利用するパソコンは、OS、ウイルス対策ソフトウェアを常に最新の環境にしておく
- ⑤必要時に迅速、確実にコミュニケーションがとれる方法を確認しておく（電話、メール等）。

## テレワークを始めるためのポイントアドバイス

- 1) 在宅勤務の実施やルールの通知に関しては、トップの責任において告知することで従業員の理解が得やすく、スムーズに実施することができます。
- 2) 100%在宅で業務を行う事ができない場合には、まず「テレワーク可能な業務を自宅で行う日」を決めて実行してみましょう。
- 3) テレワークは緊急時だけのものではありません、日頃から準備をしておくことでBCP 対策となるだけでなく、将来的な生産性の向上に役立てることも可能となります。今後の本格的なテレワーク導入も見据えてステップアップを検討しましょう。
- 4) 在宅勤務者とのコミュニケーション方法については十分に検討しておきましょう。



## テレワークセンター徳島のご案内

テレワークセンター徳島は、テレワークに関する情報を収集したり、テレワークをしている人が便利に利用したりできる施設です。テレワークセンター徳島のホームページではテレワークセンター施設のご案内の他、イベントやテレワークに役立つ情報の発信を行っています。詳しくはテレワークセンター徳島のホームページをご覧ください。

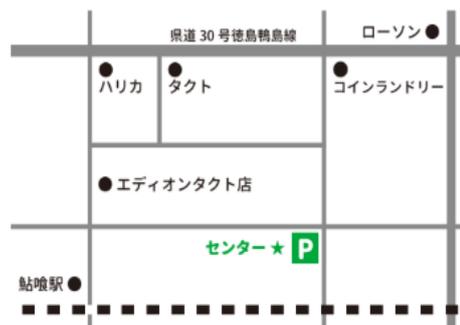


テレワークセンター徳島

検索

住所：徳島市南島田町2丁目2番地（旧徳島テクノスクール2階）  
 電話：090-3187-9845  
 メール：info@tokushima-telework.jp  
 開館時間：平日 10:00～17:00（土日祝休館）  
 駐車場：あり  
 ホームページ：<https://www.tokushima-telework.jp/>

Facebookでチェック 「teletoku」  
 LINE@ ID：@rzm8721b



## その他テレワークに関連する情報は

テレワーク総合ポータルサイト（厚生労働省）<https://telework.mhlw.go.jp/>

※助成金等の支援やセミナーなどテレワークに関する様々な情報が公開されています。



## <関連資料>



企画・制作：株式会社 NTT  
 データ経営研究所  
 冊子：A4 96頁  
 ★テレワーク導入検討企業が  
 最初に参照すべき冊子

作成：厚生労働省  
 冊子：A4 28頁  
 ★テレワークに係る  
 モデル就業規則のパンフレット